

agnate 2014 の使用感、機能性についての報告

立教大学

社会学部社会学科 4 年

前田 一步 (Kazuho MAEDA)

1 概要

本稿は、約 3 週間、4 か国 10 都市にわたる西ヨーロッパ観光旅行の全日程をとおして、agnate2014 を使用したことで得られた使用感や、機能性について報告することを目的とする。

1.2 方法

本稿は、以下の手順で報告をおこなう。はじめ、2 章にて、3 週間におよぶ旅行において各部位、機能をいかにして使用したのかについて、筆者の経験にもとづき詳細に記述する。続く 3 章では、使用することで得られた利便性や使用感について、こちらもまた筆者の経験にそくして記述する。4 章では、そうしてしめされた具体的な使用方法や使用感を、デザインのコンセプトと比較することで分析し、3 週間におよぶ旅行において、agnate2014 を使用することによってえられた使用感や機能性についての報告をおこなう。

1.3 旅程

2015 (平成 27) 年 3 月 5 日に成田空港を出発し、同日午後、フランクフルト空港に到着した。7 日までフランクフルトに滞在し、同日午後、ボンに向かった。以下、友人の家に住みながら、ボンのまちを拠点にして、海外生活の体験、ならびに、ドイツのライン川沿岸諸都市や、国境を接するオランダやベルギーの都市を観光した。

9 日と 10 日にはデュッセルドルフを観光し、11 日はケルンを訪れた。同月 12 日から 17 日までは、飛行機でイングランドにわたり、ロンドンを観光した。また、イングランドでは、15 日にロンドン近郊のオックスフォードを訪れた。

ロンドンからドイツへ帰国後、20 日には、オランダのマーストリヒトへ行き、同日に、オランダとドイツの国境の町、アーヘンを観光した。25 日には、ベルギーのリエージュを訪れ、観光をした。そして、26 日の午後にフランクフルト空港を出発し、翌 27 日に成田空港に帰国した。

観光については、いずれもまち歩きをむねとするもので、毎回、とても長い距離を歩いた。ボンの友人宅を拠点にしたドイツでの生活においても、スーパーマーケットでの買い物等で、外出するたびに agnate2014 を使用した。以上が本報告のおおまかな旅程である。

2 使用の報告

本章では、agnate2014 の各機能、収納を、3 週間の旅行をつうじて、それぞれどのような用途で使ったのかを、各部位・機能の使用状況にそって、詳細に記述していく。報告の対象とする部位は、主気室とサイドポケット、ボトルケース、おむつ入れ、そしてフックの 5 か所である。

2.1 主気室

主気室は、マジックテープによって固定可能なポリエステル¹の仕切りによって、3 つのスペースに分けることができる。真ん中には一眼レフを、その隣の小さなスペースには望遠レンズを収納した。そして、もっとも広い空間には、ipad2 や、行く先々で購入したもの等、あらゆるものを入れて持ち運ぶことができた。

スーパーマーケットで買い物をするさいは、仕切りを取り払い、主気室をひとつの空間にして使用した。近年、日本でもマイバッグやエコバッグが推奨されつつあるが、ドイツでは買い物客がビニール袋をレジで買い、買ったものの持ち運びにもちいることはほとんどない。agnate2014 の主気室は、食料品の買い出しにもじゅうぶんもちいることができる。たとえば 750ml のワイン瓶や、500ml のビール瓶を立てたまま収納することが可能である。本体の深さが、2700 mm²と、これらの細長い瓶を収納するために、じゅうぶんな深さがあるためである。ある日の買い物は、まち歩きの帰りだったので、あらかじめ、カメラと望遠レンズ、手袋、文庫本を収納していたが、難なく、パンと 500ml 瓶のビール 2 本、そしてジャムを入れることができた (図 2.1)。

¹ Sociological Design Tricks HP 『ファザーズバッグ「agnate」の特徴』

<http://sociologicaldesign.jimdo.com/ファザーズバッグ/ファザーズバッグ-agnate-の特徴/> (2015 年 4 月 1 日閲覧)

² 同上



写真 2.1 (筆者撮影)

2.2 サイドポケット

主気室のほかに、おむつ入れ側とその反対の両面に、防水ジッパーで開閉する収納が、それぞれ備えられている。ここでは便宜的に、おむつ入れ³側を表側、その反対側にある収納を裏側と呼ぶ。

表側のサイドポケット内部には、2本分のペン挿しと、2つの小ポケットがある。筆者はペン挿しに1本の万年筆をさしていた。また、小ポケットにつねにパスポートを収納していた。

裏側は、とくに用途を定めなかったが、ハンカチや電車内で読む文庫本等を収納し、A4 ノートを横で余裕をもって入れることができた。

2.3 ボトルケース

agnate2014 には、正面からみた左右の両サイドに、ボトルケースがそなえられている。

ボトルケースには、あらゆる大きさのペットボトルを収納して、長い距離を歩いた。細いペットボトルを収納するばあい、じゅうぶんに固定することができず、バッグを傾けたさいに滑り落ちてしまうことがあった。他方で、750ml

³ おむつ入れについては2章5節で説明する。

入りの比較的太いペットボトルは問題なくおさまった。

また、降雨のあった日の観光では、商店などの屋内に立ち入るさいに、折りたたみ傘をボトルケースに収納した。傘は濡れていたが、そのことによって、隣接する主気室に収納したものが濡れることはなかった。防水性はじゅうぶんに確保されていたと判断できる。

2.4 おむつ入れ

agnate2014には、バッグ正面にふたつのおむつ入れがそなえられている。これらは、マグネットで開閉することができ、最大で、新書本ていどの大きさ、長さのものを収納できる。筆者は、用途をさだめて使用した。正面からみた左側のおむつ入れにバスの回数券を収納し、右側にはポケット・ティッシュを入れていた。

ドイツの公共交通制度は、バスや電車、路面電車など、すべて、ひとつのチケットで乗車することができる。駅には改札が存在せず、乗客は、車内を巡回する車掌に求められれば、すぐにチケットや定期券を提示しなければならない。ゆえに、つねにどこにチケットをしまっているのか把握するために、おむつ入れをもちいた。

2.5 フック

おむつ入れ側を正面とすると、左右両面にフックがあり、ベビーカーに引っ掛けることが可能である。しかし、フックを使用する機会は一度もなかった。ショッピングカートに引っ掛けるには、いずれの場合も、カートのパイプが、フックに対してあきらかに太かったためである。

3 使用感・目立った機能

本章では、agnate2014を使用して、特に目立った利便性を得られた点や、筆者自身が感じ取った使用感を、詳細に記述する。

3.1 主気室

主気室は底が深く、仕切りをもうけても、もうけていなくても、多くのものを収納することができた。外出するさいに、はじめはカメラのみを収納しているのでは、バッグ全体がつぶれて薄くなり、すこし不恰好に感じられることもあった。しかし、観光のばあい、行く先々で何かしらのものを購入するので、スペースに余裕があることは、とても好ましいことであった。いいかえると、バッグが薄くつぶれ、不恰好なまま帰宅することはなかったのも、このことで、おおきな不満を感じることはなかった。

3.2 サイドポケット

サイドポケットを活用することで、パスポートや航空券の場所をつねに把握できた。筆者は、滞在中4度、飛行機に乗る機会があったが、いずれも国境をまたぐ路線であった。イギリスはシェンゲン協定には加盟していないので、EU加盟国内であっても、搭乗手続きのさいにはパスポートの提示をおこなわなければならない。サイドポケットを活用することで、バッグ内部の具体的などの位置にパスポートや航空券があるのか、完全に把握することが可能だった。なぜならば、さきほども記述したように、サイドポケット内に備えられている小ポケットは、パスポートの大きさと、まるで意図したかのように合致していたためである。

3.3 ボトルケース

海外のペットボトルは日本製のもの比べると、その機能に疑問を感じる人が多い。また、おおくのみネラル・ウォーターはキャップを回して開閉するタイプではなく、はめ込んで開閉するタイプのペットボトルで売られていた。とくに、キャップをはめ込んで開閉するタイプのペットボトルは、バッグの内部で、なにかの拍子にキャップが外れることもじゅうぶん考えられる。ゆえに、タブレットやカメラが収納されている主気室内に入れて持ち運ぶことは避けたい。とはいえ、750mlのおおきなペットボトルを手にもって観光するわけにもいかない。よって、ほとんどのサイズのペットボトルを、ボトルケースに収納できたことで、おおきな利便性を得ることができたと感じている。

3.4 おむつ入れ

3週間使用した筆者の実感として、もっとも利便性を感じた機能が、このマグネットが開閉可能なおむつ入れである。おむつ入れを使用することで、緊急性を必要とするアクションを起こすさいには、片手で素早く、かつ簡単に開閉できる場所に、決まりきったものを入れておくことが、どれほど便利かということを実感させられた。筆者は旅行で、とりわけ海外旅行では、頻繁に鼻血が出る体質のようである。ゆえに、ポケット・ティッシュがどこにあるか把握でき、いかに簡単に取り出せるかは、きわめて重要な機能であった。ズボンの前ポケットには、携帯電話や財布、小銭入れ等がすでに入っており、海外旅行で後ろのポケットを使うことは、盗難の可能性が高いことから、ふつうは推奨されない。また、冬季はコートのポケットもさぐることになるので、さらに余計な手間がかかる。このような事情からも、緊急時に、2つ以上の小物が入っているズボンのポケットからポケット・ティッシュを引っ張り出すよりは、おむつ入れに備えておくことによって、はるかに楽に、早く取り出すことができた。

また、2章4節で、公共交通機関の回数券を入れておいたと述べたが、回数券の保管場所としても、その機能性を発揮していた。ボン市では、夜9時以降にバスに乗るさいには、運転手に切符を見せて乗車しなければならない。後ろに多くの人が並んでいることがほとんどだったので、この行為にも、ある程度の緊急性が必要とされる。このばあいにも、どこに何があるのか把握可能で、かつ素早く簡単に目的のものを取り出せる、という機能がおおいに役に立った。以上が、おむつ入れがすぐれて機能的であると感じた理由である。

一方で、防犯という観点から、難なく開閉できるという機能に不安を感じることもあった。しかし、貴重品や盗まれると困るものを簡単に人目にふれる場所に収納しない、という自衛行為をすることは、旅行者にとって最低限の義務であろう。海外旅行においては、使用するさいの緊急性が高く、それでいて、盗まれても困らないようなものを収納することで、おむつ入れをうまく活用することができると感じた。

4 分析 デザインのコンセプトとの比較

ここまで、海外旅行における agnate2014 の使用事例と、使用して感じたことについて述べてきた。これまで述べてきたことがらを整理すると、表 4.1 のようになる。

部位	使用方法	使用感
主気室(仕切りあり)	カメラ・望遠レンズ・おみやげ、折りたたみ傘	十分な容量の荷物を収納できた。カメラをすぐに取り出せた。
主気室(仕切りなし)	買い物	ショッピングバッグの役割を十分果たした
サイドポケット	パスポート、ペン、新書本、ハンカチ、A4ノート	多くのものが入る。ポケット内の小ポケットにパスポートがすっぽりと入った
ボトルケース	ペットボトル、折りたたみ傘	<ul style="list-style-type: none"> ・濡れた傘をたたんで収納しても、主気室内部に染みなかった ・あらゆるサイズのペットボトルを収納できるが、特に細いものは十分固定できなかった
おむつ入れフック	電車・バスの回数券、ポケットティッシュ等 使用しなかった	片手ですぐに取り出すことが可能

本章では、これまで示してきた agnate2014 の使用方法や使用感を、デザインのコンセプトと照らし合わせることで、その機能を分析する。デザインのコンセプトは表 4.2 でしめた。

表4.2 agnate2014デザインのコンセプト	
部位	デザインのコンセプト
主気室	ミラーレス一眼、着替えやおやつ、汚れ物を分けて収納できる
サイドポケット	書類入れ用。書類が横で入るようにしている
ボトルケース	ベビーマグ、500mlペットボトルが保冷ポーチ入りで収納できる
おむつ入れ	緊急時、ワンアクションで開閉できるマグネットで開閉できる
フック	ベビーカーにかけて、ぶら下げることができる
Sociological Design Tricks HPより作成	

4.1 主気室の比較

主気室は、ミラーレス一眼やその付属レンズ、子どもの着替えやおやつ、そして、タオルやよだれかけ等の汚れ物を分けて収納できるようにデザインされている⁴。ポリエステル製の仕切りは使用する用途によって、取り外しが可能である。

海外旅行における使用では、たとえば、着替えと汚れ物のように、内容物を厳密に分ける必要がなかった。しかし、雑多なものを収納する場所とカメラとを、ひとつの主気室のなかで別々に収納できる点に、助けられたことが多い。育児のために意図して備えられた機能性が、海外旅行においても発揮されたといえる。

4.2 サイドポケットの比較

サイドポケットは、問診票や母子手帳、財布など、さらに、その他の書類を横にして収納できるように設計されている⁵。

表 4.1 でまとめられているとおり、サイドポケットには、パスポートや筆記用具、新書サイズの本や、ハンカチなど、じつにさまざまなものを収納した。そのなかでも、特筆すべき利便性を感じた点は、パスポートの保管場所として適していた点である。

agnate2014 は、ファザーズバッグであるため、サイドポケット内の小ポケットは、とうぜんパスポートを保管する場所としてデザインされたわけではないはずである。それでも、母子手帳や問診票など、パスポートと同様に、特定の場所と機会において、ピンポイントで必要とされるものを保管するためにデザインされたのではないだろうか。それほど、パスポートや航空券の出し入れのさいに機能した。よって、サイドポケットについても、デザインのコンセプト

⁴Sociological Design Tricks HP 「ファザーズバッグ開発のあゆみ」

<http://sociologicaldesign.jimdo.com/ファザーズバッグ/ファザーズバッグ開発のあゆみ/> (2015年4月4日閲覧)

⁵ Sociological Design Tricks HP 『ファザーズバッグ「agnate」の特徴』

<http://sociologicaldesign.jimdo.com/ファザーズバッグ/ファザーズバッグ-agnate-の特徴/> (2015年4月4日閲覧)

は、海外旅行において、一貫した機能性をもたらしていると判断できる。

4.3 ボトルケースの比較

500ml のペットボトルを保冷ポーチ付きのサイズで収納できるように設計された部位がボトルケースである。ベビーマグはどうしても内容物が漏れてしまうために、agnate2014 にそなえられた機能である⁶。

3章3節でしめしたとおり、バッグのなかに入れて持ち運ぶことを躊躇するようなミネラル・ウォーターのペットボトルを収納するために、この機能をもちいることができた。デザインのコンセプトがそのまま、海外旅行におけるニーズにも当てはまっているといえる。

4.4 おむつ入れの比較

おむつ入れは、ノールックで、替えのおむつとおしりふきを取り出すことのようにデザインされている⁷。海外旅行においては、ノールックである必要はないが、鼻血などの緊急時や、公共交通機関のチケットを収納しておき、すばやく取り出すために機能的であった。

5 考察

これまで、海外旅行における agnate2014 の使用方法と、使用することで筆者がかかえた感想とを、各部位ごとにリストアップし、デザインのコンセプトと比較してきた。さまつな点では、意図せざる効能をえたこともあるが、おおくの点で、育児をするさいの問題を解決するためにデザインされた機能が、海外旅行における利便性につながっていると判断できる。たとえば、おむつ入れは、おむつ交換のさいに、片手で、さらにワンアクションでおむつを取り出せるように設計されている。この機能は、鼻血という——筆者にとって海外旅行独自

⁶ Sociological Design Tricks HP 「ファザーズバッグ開発のあゆみ」

<http://sociologicaldesign.jimdo.com/ファザーズバッグ/ファザーズバッグ開発のあゆみ/> (2015年4月4日閲覧)

⁷ 『社会学者が作ったファザーズバッグ』

http://l.facebook.com/l.php?u=http%3A%2F%2Fsociologicaldesign.jimdo.com%2Fapp%2Fdownload%2F9742041179%2F%25E7%25A4%25BE%25E4%25BC%259A%25E5%25AD%25A6%25E8%2580%2585%25E3%2581%258C%25E4%25BD%259C%25E3%2581%25A3%25E3%2581%259F%25E3%2583%2595%25E3%2582%25A1%25E3%2582%25B6%25E3%2583%25BC%25E3%2582%25BA%25E3%2583%2590%25E3%2583%2583%25E3%2582%25B0.pdf%3Ft%3D1427859697&h=7AQFw60VTAQEIH7cmDM6PmwAq81RmzNK3a4nTAV7SF1KfA&enc=AZP573p-DUnc4pfKkx4JmxKsjNp3WKYrgIipWMk5VF92n79_L5EmDdoQCV2XLRPgmZG-3gSVVS3dTqygdjEHIIZH5CK3Yn-laUqlxjLzxaD8C6kfYQkufxLGq7oiawvDSSwPp-DzFu7M_dT6zfHbgpC8PjX1uEmB DnrAXGaYrLECWA&s=1 (2015年4月4日閲覧)

の——アクシデントや、公共交通機関の回数券の提示という機会において、意図されたとおりに機能した。

以上のことから、育児のためにデザインされた各機能が、意図せざる結果や効能をもたらしていることはあまりなく、各機能が、そのまま海外旅行において、その機能を発揮したということがいえる。

6 結論

ここまで、3週間の海外旅行における agnate2014 の使用方法や使用感と、デザインのコンセプトとを比較し、分析することで、以下にしめす考察を得ることができた。子育てのために設計された機能は、普遍的な便利さでもあるのではないだろうか。ファザーズバッグ agnate2014 のデザインのコンセプトは、父親の育児のためである。しかし、そのデザインによってもたらされた機能性は、そのまま海外旅行においても機能した。